



市整会 会報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.40 2008年8月8日発行

(医) 頼整形外科クリニック
〒591-8004 堺市北区蔵前町1226-1 サンロード1F
TEL072-250-3211 FAX072-250-3222

巻頭言

市整会副会長 頼 功

診療報酬4月改定により実施された「後期高齢者医療制度」、そして外来管理加算への時間要件を導入するという、いわゆる「5分ルール」などで医療現場が混乱している今日この頃であります。さらに「夜間・早朝加算」、「後期高齢者診療料」、「1患者1主病1医療機関」など、およそ診療実態と合わない診療報酬改定のため、振り回されているのが現状です。すべて廃止される運動が今強く求められ、各医師会および各種団体が撤廃運動を繰り広げております。今後の動向に期待したいと思います。

さて、去る4月19日に市整会総会におきまして南平克積前会長の後を引き継ぐ形で私が会長に就任させて頂きました。なにぶん凡愚で力量不足であることは明らかであります。至らないところ多々あるかもしれませんが、市整会そして会員の皆様の益となるよう頑張ってお活動させて頂きまのでよろしくお願ひ致します。新執行部のメンバーはほとんど前執行部からの先生方に留任していただきました。業務遂行はこれまでと変わらずスムーズに移行できるものと思っております。市整会は206名の会員数になりまして益々充実発展しているご同慶に至りに存じております。しかも会員の中には各方面で責任ある立場に立って活躍されているメンバーも多数居られます。現在河内医師会会長をされておられる上田晏弘先生（市整会理事）、そしてこの4月から大阪臨床整形外科医会会長に市整会前副会長の黒田晃司先生がご就任され、また羽曳野医師会会長に市整会前総務担当理事の増田博先生がご就任されています。各先生のご活躍とご発展をお祈りいたしますと共に、できる限りの支援を行いたいと思っております。

ところで市整会の定款に謳われていますように、この会の目的が大学教室との連携を保ち、本会員の資質向上を図り、会員相互の協調と親睦扶助を推進することとされています。そのための事業として年間8、9のイベントを企画しております。学術講演ばかりでなくご家族の参加も可能な文化講演、新年会、家族会もございます。いずれの行事も肩肘の張らない、ざっくばらんで温かくて居心地の好いこと、本音を語れる、しかも楽しい市整会行事をモットーにしていきたいと思っております。多くの方々のご参加がなければ盛り上がりませんのでご協力の程をよろしくお願ひ致します。講演会は会員の最も興味・関心のあるお話を、大阪臨床整形外科医会主催などの学術講演会の講演内容とはできるだけかけ合わないよう、市整会独自の一味違う講演会を学術担当部で企画していただきたいと思っております。今年の3月の市整会講演会（前年度第3回研修会）より大学同門勤務医会のメンバー個人宛に講演会の案内を送付するようになったところ勤務医会の先生のご参加がかなり見られるようになっており、大変好ましい状況であると考えます。旧交を温めることもでき、また若い勤務医の先生と知り合える機会ともなり、さらに同門での病診連携を深めることができるでしょう。勤務医会との連携を益々深めて行きたいと思っております。文化講演は会員の奥様やご家族にも興味深くお聞きいただけるお話を準備したいと思っております。ちなみに今年の秋の講演会(11月8日)の文化講演には、以前に取り上げた「笑いと健康」シリーズの文化講演第2弾として産婦人科医にして「日本笑い学会」副会長を自称する昇 幹夫先生（テレ

(2)

ビ、ラジオにもご出演、鹿児島島の平田宗興先生のご友人)による「あなたの笑顔、何よりくすり」のご講演を予定しております。大いに笑っていただいて「笑いの効用」を実感していただきたいと思っております。奥様、ご家族をお誘い合わせて多数ご参加ください。家族会の日程もほぼ決まっております。来る10月26日(日)に、今回は地元大阪においてのイベントで、大阪を再発見するツアー、落語家のナビゲーションによる浪速川巡りと料亭「芝苑」でのお食事会などが企画されていると福利担当部より伺っています。家族会はいつも参加者が少ないようですが、特に気を使うところはなく、子供さん、お孫さんが走り回っても少々騒いでも構いません。お気軽にご家族お誘いあわせて是非ご参加ください。

ゴルフ大会も毎年開催され、公式行事(市整会主催)として市整会ゴルフコンペが平成5年から継続して行われております。毎回30名前後の参加

者があり、盛大なコンペになっています。また非公式行事(市整会協賛)として市整会会員と勤務医との交流ゴルフコンペ(スケルトンゴルフコンペ)が平成6年から行われおり、若い勤務医との親交を交える機会ともなっております。こちらも毎回30名前後の参加者があります。是非いずれのゴルフコンペにもご参加ください。

そのほか年頭の新年会行事、特別講演と楽しいアトラクションを組み入れた新年宴会などもあります。できるだけ日程をやり繰りしていただき多くの行事にご参加いただければと存じます。市整会の会合に出て行けば何かが学べ、耳学問ができ、友人たちと談笑し、そして心が癒される、そんな市整会でありたいと願っています。新執行部一同、一致協力して温かい、居心地の好い、そして気品格調ある会にしていきたいと存じますので会員の皆様におきましてはよろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

市整会会員の皆さまへのご挨拶

大阪臨床整形外科医会・会長 黒田 晃司

大阪臨床整形外科医会は、昨年創立30周年を経過して、いまや会員が500名を越えようとしています。現在も新入会員が毎年10名以上続いております。

一方、この絶望的な医療情勢の下、あきらめてしまわれたのでしょうか?閉院される先生も出ています(悪い時代になってきたたことはなげかわしいことです。)また、会員が世代交代の時期にもなっているのでしょうか、退会される会員も毎年10名を超えているため、全体では会員数は以前のように増加しておりません。調査によりますと、未入会の整形外科医が相当数いるそうです。50名とも100名とも言われています。この苦しい時代に団結して戦っていくためには、是非ともこれらの先生のご支援も必要ですので、一人でも多くの整形外科医の入会を求めたいと思います。周りに新規開業されたり未入会の先生がおられましたら、是非入会をご案内くださいますようお願い致します。

ところでJCOAの中でOCAが最大の会員数と

ほこっていますが、なぜなのでしょう?

当然、整形外科医の数は東京都が断然多いはずなのですが! その理由は、色々あると思いますが。私は、OCAの先輩の先生方の運営方針と研修会のおかげだと感謝いたしております。在阪5大学の同門会の指導的立場にある先生方を中心に、同門会や各地域の医師会のつながりを生かして、本会の運営に絶大な力を発揮して下さった30年の積み重ねのおかげです。会員や理事がどこかの大学に偏ったり、地域的にも偏在するとみんなの力を結集することは出来ません。理事はバランスよく選び、年齢も偏らぬよう順次若い理事を選んできました。現在は、本会の運営は在阪5大学出身者が中心に70余名の理事に支えられています。また、長田明会長のとき、会則に参与という役職を作りました。70歳を越えた理事は参与となり一線からは退くことにより若返りが図られる仕組みができました。しかし必要に応じて理事会には参加され、高所からアドバイスをしてくださいますし、人脈を通じて必要な情報をもたらして下さい

ます。このように本会はバランス良い人事と方針のもと運営されております。今後とも、偏らないメンバーで、この機構を支え、運営していきたいと考えています。そうすることで会員の求めていること、会員の利益になることを実行し、会員にとって魅力的な会として今まで発展してきたと思います。今後もこの方針を堅持したいと願っております。

会長職というのは予想外に雑用の多いものです。府医師会においては整形外科医の代表です。JCOAの地区代表です。また場合によってはJOAとのパイプ役でもあり、医師会との交渉役でもあります。したがって会の発展を左右する場面にも向かい合わなくてはなりません。心を引き締めて、その任に当たる覚悟です。

この会の歴代の会長は、我々の同門の大先輩、越宗正先生、吉田正和先生、伊藤成幸先生ら7人の侍？によって設立され、越宗先生が初代会長を務められました。その後、坂本徳成先生（関西医大）の時代に保険医協会との関係を整理され、独立した組織を作られました。6年間会長を務め、その間にJCOAの研修会を主催されました。続いて、伊藤成幸先生（市大）が4年会長とされました。その後、一期2年間づつ、大橋（大阪医大）、小杉（阪大）、堀木（阪大）、三橋（奈良医大）、長田（市大）、服部（大阪医大）、松矢（関西医大）、早石（阪大）（敬称を省略させていただきました）と引き継がれてまいりました。長田会長の時代に小松堅吾先生を実行委員長としてJCOA学会を大阪国際会議場を会場にして開催いたしました。私も一番末席の役員として弁当係を勤めさせていただきました。そのとき、前夜祭の参加者の集まりが悪く、ロイヤルホテルの会場がガラガラになるような人数でしたので、在阪5大学の理事を中心に同門会を通じて200名の動員をお願いいたしました。そこで、市整会の皆様方に無理を承知で、当時の会長榎本先生の了解のもと、電話に嘯り付いてお願いしまくりました。「強引だな」としか

られたり、あきれられたり、しかし、お陰さまで会員とその奥様も含めて100名近い市整会の皆様のご参加を得ました。大変盛大で思い深い学会となりました。このことは私にとりましては大変うれしい、頼もしい市整会の思い出の1つです。平成24年には再び近畿地区で新しく生まれ変わるJCOA学会が近畿地区全体の主催で開催されることに決定いたしました。そのときは再度ご協力をお願い致します。

現在は、OCOАの会長の任期は一期2年と定められ、この厳しい医療情勢の時代、2年間は会長職に集中してゆくようになりました。また、私が2度目の副会長になったとき、本会の会員数の増加に伴い、OCOАが担う役割が各方面に涉り大きくなりました。それに対応するため、多様化した組織と業務をスムーズに動かして対応してゆくために、また、それぞれの担当者の業務の内容・責任の所在が明確になるよう副会長職を2名から5名に増員できるように会則を変更いたしました。時代のニーズに合わせて対応してきたおかげで、今のOCOАの組織が形作られ機能していると思います。

会長職は以前のように、「本会を代表する偉い方」「名誉ある選ばれし者」でなければならぬのでしょうか、私の実力は、「皆様の力を束ねて、本会を運営する実務者」だと心得て、その任に当たりたいと思います。どうぞ皆さま、大阪臨床整形外科医会という御輿を力いっぱい担いで下さい。この考えの元、今後2年間をまっとういたしたいと思います。皆様方のご支援、ご協力を平にお願ひ致します。なお、今の苦しい整形外科医の医療情勢を打開するため、我々会員を代表し、診療所を犠牲にして、時間を割いて活動して下さっているJCOAの役員の方を皆さまを後方支援するため、医整協議会に1人でも多くご加入下さい。せめて資金のご支援を心からお願いいたします。

平成20年7月5日

(4)

羽曳野市医師会長に就任して

昭和57年卒 増田 博

今年の4月に羽曳野市医師会の会長に就任しました。6年前から3人いる副会長の末席副会長として、会の総務、会計等を担当してきましたが、二人の副会長が会長への就任を固辞したため、私が会長を引き受けることになりました。

羽曳野市は大阪府の南東に位置しており、医療圏でいうと、南河内の北ブロックにはいります。松原市、藤井寺市、柏原市、太子町、富田林市、堺市に囲まれており、阿部野橋から近鉄電車の急行に15分ほど乗ると、古市駅という羽曳野市の中心の駅に着きます。他の市では松原駅、藤井寺駅、富田林駅、河内長野駅とそれぞれの市の名前が駅の名前になっていますが、羽曳野市には羽曳野駅という名の駅がありません。

羽曳野市医師会には、A会員が66名、B会員が61名います。診療所の数は61と少ないですが、市内には府立呼吸器・アレルギー医療センターを含めて病院が7つあり、総ベッド数は1,747床とベッドの数は多いです。人口は12万弱です

昔から白鳥伝説 日本武尊(ヤマトタケルノミコト)の関係する白鳥神社があり、最近新聞にも出ましたが、野生の蛍が群生しているという応神天皇陵(堺にある仁徳天皇陵について大きい)も羽曳野市にあります。

羽曳野市医師会の行事としては、3月に予算総会、6月に決算総会と年2回の総会があります。1月には新年会、12月にはゴルフ部を中心とした忘年会があります。新年会には市長を始め、関係諸団体の役職者にも出席をいただいています。理事会は原則として月1回ですが、臨時で開催することもあります。月例会とって、理事会での決定事項を報告する会も 月初めに行っています。学術講演会を、隔月くらいで開き、ゴルフコンペは年4回行っています。そのうち1回は、遠征とって、泊りがけで全国各地に出かけています。旅行会は、やはり一泊ですが、秋の行楽シーズンに各地を訪れています。

ご存知のように この4月から診療報酬の改訂があり、さまざまな制度が変わりました。まず後

期高齢者医療制度です。75歳以上の方の保険者が広域連合にまとめられ、後期高齢者診察料なる丸めの点数が新設されました。この制度は患者さんの医療機関へのフリーアクセスを損ない、将来の包括性への第一歩となる制度なので 羽曳野市医師会では4月1日に後期高齢者診察料の施設基準届けを出さないように会員の先生にお願いしました。

また5分ルールという 診療の評価に時間の尺度が入ってきました。患者さんによっては いろいろ説明をしなければならぬときもあり、一人の患者さんに10分以上診察時間がかかることもあります。5分で外来管理加算のあるなしを決めるのではなく、診察室で、患者さんに満足を与えたか与えてないかで判断してほしいと思います。

また、特定健診制度も今年度から始まり、羽曳野市でも少し遅れましたが、羽曳野市国保の市民に対する特定健診が7月から始まりました。担当理事の先生の市役所との交渉により、特定健診にたいしては1000円の費用負担がありますが、上乘せとして、血算、尿酸、クレアチニン、アルブミン、CRP、心電図等、以前の市民検診とほぼ同じくらいの内容を無料で実施できることになりました。

今年の2月からは府医師会の代議員会にも出席していますが、会長選挙をきっかけに、代議員会が二つにわかれた様な状態になっています。早急にお互いの陣営が、歩み寄り、わだかまりをなくしてほしいと思っています。

会長職について、3ヶ月しかたっていませんが、まだ右も左もわからず、会長協議会に出席して、そこで聞いた内容を、会員の先生に伝えるだけで精一杯です。今までは、医師会からいろいろ文書が届いても、自分に関係ない資料には目を通しませんでしたが、今はそういうわけにはいきません。できるだけすべてのことを、理解しようとはしますが、やはりなじみのない内容はなかなか頭に入ってこないため、苦勞しています。

いろいろ大変なことの多い仕事ですが、羽曳野

市医師会のために精一杯努力していき、市整会とも連絡を密にしていきたいと思っています。皆様方の暖かいご支援をお願いいたします。

平成20年度 市整会総会

学術講演 「エルカトニンの鎮痛作用機序と末梢血流改善作用」

旭化成ファーマ(株) 研究センター 伊藤彰敏

門林哲夫先生 昭和12年10月12日

永田清員先生 昭和12年12月9日

榎本高明先生 昭和13年1月26日

畠中正昭先生 昭和13年3月9日

渡辺径宏先生 昭和13年3月10日

1 総会

議長 石崎 嘉昭 先生

前野 岳敏 先生

1 会長挨拶 南平 克積 先生

2 報告事項

(1) 本日の出席者数と任意状数 総会成立について

(2) 昨年の会員動向 会員数 206名 名誉会員 新入会員 (増田)

3 審議事項

(1) 平成20年度の役員改選 (会長)

(2) 平成19年度事業報告 (増田)

(3) 平成19年度会計報告 (柳井)

(4) 平成20年度事業計画案 (増田)

(5) 平成20年度予算案 (柳井)

(6) その他 (会長)

名誉会員の先生方 生年月日

東 晴彦先生 昭和11年7月2日

三明靖正先生 昭和12年4月27日

新規開業の先生

・釜野雅行先生 ・酒井 啓先生

・戸堂慎一先生 ・中塚洋直先生

・小竹志郎先生 ・門口龍司先生

・高尾泰広先生

新入会の先生 藤原良江先生

廃業の先生 笹尾広吉先生

物故会員

柿本俊夫先生 平成19年8月16日

布谷國廣先生 平成20年4月5日

2 特別講演

ステロイド性大腿骨頭壊死の原因究明と
予防法の開発

大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科教室
岩切健太郎 先生

3 懇親会

(6)

<平成19年度 事業報告>

- H.19.4.21(土) 総会 天王寺都ホテル (旭化成) 28名
コンピューター援用、手術ナビゲーションシステム使用による解剖学的兼常な骨修復
—BMPによる新しい骨再生手法— 独協医科大学 整形外科 並川 崇先生
- H.19.6.16(土) 学術講演 大阪全日空ホテル (田辺製薬) 51名
上肢骨折・外傷に対する診断・初期治療のpitfall—自験例における問題点の検討から—
大阪市立総合医療センター 整形外科 副部長 日高典昭先生
開業医におけるリウマチ治療の生物学的製剤の実際
さいとう整形外科 院長 齊藤 潤先生
- H.19.7 市整会会報発行
- H.19.7.22(日) スケルトンゴルフコンペ オークモントカントリークラブ 28名
- H.19.9.29(土) 理事会 大東洋 (帝人ファーマ)
- H.19.10.27(土) 学術・文化講演会 梅田スカイビル (日本臓器) 78名
脳脊髄液減少症の診断と治療について
奈良県立医大 麻酔科学教室講師 橋爪圭司先生
最近の整形外科関連の医事紛争の特徴とその対策について
米田泰邦法律事務所 弁護士 米田泰邦先生
- H.19.11.18(日) 市整会35周年記念祝賀会 全日空ホテル 123名
- H.19.12.9(日) 第16回ゴルフコンペ 泉ヶ丘カントリークラブ 32名
- H.20.1.19(土) 新年会 全日空ホテル (エーザイ) 44名
特別講演 上肢変形治癒骨折に対するコンピューター支援手術
大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学 准教授 香月憲一先生
- H.20.2 市整会会報発行 (35周年記念特別号)
- H.20.3.15(土) 学術講演会 ホテル阪急インターナショナル (小野薬品) 141名
学術講演 肩関節周囲疾患をどう診るか? その診断・治療とpitfall
大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学 講師 伊藤陽一先生
学術講演 脊椎疾患に対する最近の低侵襲手術について
医療法人藤井会 顧問 石切生喜病院 整形外科 松田英樹先生
- H.20.3.29(土) 理事会 全日空ホテル (久光製薬)

〈平成20年度 事業計画案〉

- H.20.4.19(土) 総会 スイスホテル (旭化成)
特別講演 『ステロイド性大腿骨頭壊死症の原因究明と予防法の開発』
大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科教室 岩切健太郎先生
- H.20.6.14(土) 学術講演 北浜フォーラム (三菱田辺)
RAを取り巻く膠原病診療の骨(こつ)
近畿大学医学部附属病院 腎臓・膠原病内科 准教授 船内正憲先生
整形外科診療において医療過誤に結びつく動脈性疾患
—閉塞動脈硬化症と急性大動脈解離・瘤破裂—
厚生連高岡病院 整形外科 診療部長 島島廣憲先生
整形外科疾患に対する薬物治療の落とし穴
—効果的で安全な薬物処方を考える—
兵庫医科大学 集中治療医学 教授 西 信一先生
- H.20.7.27(日) スケルトンゴルフコンペ オークモントカントリークラブ
- H.20.7. 市整会会報発行
- H.20.9.27(土) 理事会 (帝人)
- H.20.11.8(土) 学術・文化講演会
爪について 東京試慈恵会医科大学 形成外科 教授 児島忠雄先生
笑いの話 産婦人科医 「日本笑い学会」副会長 昇 幹夫先生
- H.20.10(日) 家族会
- H.20.11. 市整会会報発行
- H.20.12.14(日) 第17会市整会ゴルフコンペ 泉ヶ丘カントリークラブ
- H.21.1.17(土) 新年会

平成20年～21年度 市整会役員

会 長	頼 功 (49)
副 会 長	楯 憲一郎 (52) ・ 阪本 邦雄 (53) ・ 鳴嶋 真人 (54)
会 計	柳井 尚浩 (57)
名誉会長	伊藤 成幸 (25) ・ 松尾 澄正 (28) ・ 吉中 正好 (36) ・ 長田 明 (38) 榎本 高明 (39) ・ 南平 克積 (46)
議 長	石崎 嘉昭 (37) ・ 前野 岳俊 (41)
監 事	吉岡 秀明 (39) ・ 寺川 文彦 (57)
理 事	有馬 英之 (28) ・ 木下 孟 (28) ・ 松井 善邦 (31) ・ 宮内 貴 (31) 妻鹿 利和 (31) ・ 吉田 洋 (31) ・ 沢井 康悦 (特) ・ 石上 直 (32) 竹村 永 (32) ・ 反田 英之 (33) ・ 江口 亨 (36) ・ 石崎 嘉昭 (37) 上田 晏弘 (37) ・ 小松 堅吾 (37) ・ 若林 亘 (38) ・ 中野 博友 (39) 三明 靖昌 (39) ・ 吉川 秀明 (39) ・ 木全 俊弘 (40) ・ 畠中 正昭 (40) 渡辺 径宏 (40) ・ 前野 岳敏 (41) ・ 明石 武彦 (43) ・ 奥田 好彦 (44) 越宗 正晃 (44) ・ 黒田 晃司 (46) ・ 杉本 欣也 (45) ・ 近藤 正樹 (46) 楠 正敬 (48) ・ 林 正樹 (51) ・ 吉田研二郎 (51) ・ 西上 茂樹 (54) 増田 宗義 (54) ・ 呉家 守二 (54) ・ 和田 健志 (54) ・ 中村 薫 (55) 宮脇 裕二 (55) ・ 秋野 一男 (56) ・ 坂本 和彦 (56) ・ 斧出 安弘 (56) 天馬 裕一 (57) ・ 増田 博 (57) ・ 玉田 善雄 (57) ・ 寺川 文彦 (57) 馬野 隆信 (58) ・ 柴田 和弥 (59) ・ 阪本 博史 (59) ・ 古瀬 洋一 (60) 黒澤 克也 (60) ・ 宮内 晃 (60) ・ 山下 豊 (61) ・ 西澤 徹 (62) 豊川 英樹 (H1) ・ 小堀 肇彦 (H1)
新 理 事	安田 浩成 (54) ・ 伊藤 智康 (63) ・ 木下 裕介 (H7) ・ 森川献志漢 (H8)

市整会 役員職務分掌

副会長 (楯 憲一郎)

福利厚生担当理事 ○安田 浩成 ・ △増田 宗義 ・ △豊川 英樹 ・ 中村 薫 ・ 和田 健志
黒田 晃司

副会長 (鳴嶋 真人)

学術担当理事 ○玉田 善雄 ・ △西上 茂樹 ・ 古瀬 洋一 ・ 宮内 晃
保健 ・ 労災担当理事 ○秋野 一男 ・ △天野 裕一 ・ 坂本 和彦 ・ 馬野 隆信 ・ 伊藤 智康

副会長 (阪本 邦雄)

広報担当理事 ○宮脇 裕二 ・ △西澤 徹 ・ 小堀 肇彦 ・ 黒澤 克也 ・ 山下 豊
木下 裕介 ・ 森川献志漢

総務担当理事 ○斧出 安弘 ・ △阪本 博史 ・ 増田 博

新入会員紹介

市整会入会のご挨拶

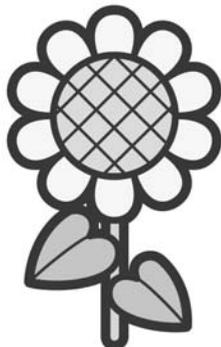
平成5年入局の戸堂です。平成19年7月に開業して、同時に市整会に入会させていただきました、1年となります。開業した場所は高石市の羽衣という土地で、この場所は私の生まれ育った場所であり、祖父の時代から、現在は父が歯科を開業している場所でもあります。したがって、当然この場所に対する私の思い入れも強く、約2年前に開業を決意した時には、迷うことなくこの地を選びました。また、開業前には診療圏の調査も行い、そこそこの見込みも立てていましたが、大阪市内とは違って、高石市は人口が6万人あまりで、少ないこと、診療圏の約三分の一が臨海工業地帯と浜寺公園に重複することもあり、1年経った現在も苦しい戦いを強いられています。最寄の駅は南海高師ノ浜線の伽羅橋で、駅より徒歩3分なのですが、伽羅橋という駅をご存知ない先生もたくさんいらっしゃると思います。南海本線の羽衣駅から徒歩にて通院が可能ですと言うと、「伽羅橋は知らないが、羽衣駅は知っている」という方がほとんどです。

ところで、開業して私が一番思うことは、一般

とどう整形外科クリニック 戸堂 慎一

の人々の整形外科というものの、理解の低さです。勤務医をしていた時は、自然に患者がそれぞれの科に振り分けられていき、あまり感じることはありませんでしたが、開業すると、整形外科の仕事の内容を知らない人が多いのに驚かされました。形成外科や整骨院との区別がついていない人はよくいますが、当院に通院している人でも。「腰痛や膝の痛みは整形外科で診てもらおうが、ケガをしたら外科が専門だと思っていた。」という方が非常に多いです。考えてみると、数ある科の中では、整形外科が一番分かりにくい名称になっていると思います。私は整形外科という名称は、非常に好きですし、いまさら名称を変えることは全く必要ないと思っていますが、私自身を含め、日整会等がもう少し頑張って、一般の人々に整形外科を理解してもらうようにアピールすることは必要ではないかと思っています。

最後になりましたが、まだまだ、未熟でありまして、患者数も少なく、諸先輩方のアドバイスを今後ともよろしく願いいたしたく存じます。



おすすめCD (ジャズピアノトリオ篇)

みやわき整形外科クリニック 宮脇 裕二

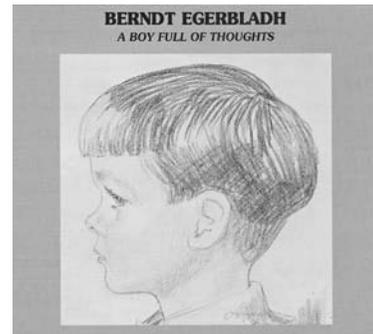
今回はジャズピアノトリオのおすすめCDです。ピアノトリオと言えばビルエバンスやオスカーピーターソンなどアメリカのアーティストが有名ですが、最近ではヨーロッパのあまり知られていないピアニストのCDが人気があります。この人気の火付け役になったのが、大阪の新世界の履物屋さんご主人が兼業でなされている澤野工房です。この会社からは既に何十枚もCDが発売されており、これらは全国のCDショップやなんばパークス内の『&音』という店の専門のコーナーで購入することができます

数ある澤野工房のCDの中でお勧めなのは、オリジナルはアナログレコードで発売され今や入手困難となっており、オークションで極めて高値で取引されている幻の音源をCDにて再発したものがあげられます。

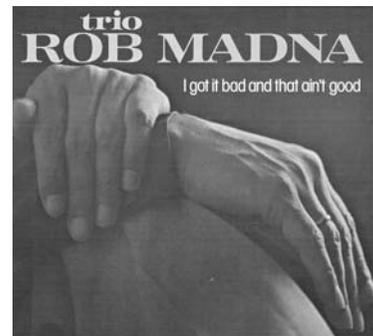
まず1番目はスウェーデンのピアニストBernd Egerbladhの"A boy full of thought"という盤(CD1)で、コレクターの間では『子供』と呼び習わされてきた名盤で、ジャケットは子供のデッサン画でひととき印象深いものです。内容もオリジナル曲に、適度にスタンダードを交えた非常に聞きやすい構成になっております。ヨーロッパ的な少し翳りのある哀愁漂う演奏を聞くことができます。澤野工房のCDの中でも人気の高いもので、これがアナログレコードで再発された時は即日完売の状態でした。

次にこれもいかにヨーロッパ的な1枚で、オランダのピアニストRob Madnaのトリオ作品"I got it bad and that ain't good"です(CD2)。これもレコードは超幻盤として有名です。なぜなら77年発売直前に店から回収されてしまい、市中に出回ることなくお蔵入りしてしまったためです。内容はノリが良いピアノで知的にスウィングする感じです。澤野さんも絶賛の内容でついにはマスターテープも買ってしまわれたそうです。ジャケットもまたすばらしくこれぞピアニストの手という写真です。

どちらのCDも買って決して損はないと思います。その他にも澤野工房にはおすすめCDが数多くありますが今回はとりあえずこの2枚で。



CD 1



CD 2



編集後記

4月に南平克積前会長からバトンを受け継いだ頼功先生によって市整会の新体制がスタートいたしました。これに伴いかねてから懸案でありました市整会のロゴマークも新たに作成されましたので、今回の会報からこのロゴマークを使用させていただきます。このロゴマークは会員の鳴嶋真人先生のご令嬢晃子様の手になるものであります。皆様ご存知の日本整形外科学会のロゴマークに大阪市立大学の学章にあります左右に伸びる大きな羽翼をくわえたものです。

今年は阪神タイガースが好調で、自宅から1キロ少し離れた甲子園球場から聞こえるのは歓声ばかりでこの原稿を書いても試合経過が気になるほどです。去年はため息が多かったのですが。さて、市整会もこの好調阪神タイガースにあやかっ

て一致団結して更なる飛躍を遂げたいと思いますのでよろしく願いいたします。おや、試合が終了したようです今夜も六甲おろしの大合唱による勝利の宴の模様です。

(広報：宮脇裕二)